



## 1 地区の概況

- ・相鉄線三ツ境駅周辺の地区で、線路の南側・北側の両方がこの地区のエリアです。南側には集合住宅、北側は一戸建て住宅が多くあります。
- ・3区分の年齢構成は、区平均とほぼ同じですが、東野台は高齢化が進んでいます。
- ・エリア内に区役所、福祉保健活動拠点などの公共機関や養護学校小中学校も多くあり、福祉保健団体の活動が活発に行われています。

## 2 地区の主な意見

### 高齢者の生きがいづくり

- ・退職後の男性は、地域の中に出かけていくきっかけを見つけにくいようです。男性向けのスポーツやボランティアの場の提供が必要です。
- ・人気のある生涯学習の講座（「平家物語」を読む会のような）を多く開催してほしい。パソコン教室なども交流の場になっています。

### 子育て世代の交流

- ・子どもも減っているので、学校等の公の建物の開放を考えてほしいです。
- ・子どもの溜まり場については、地域の協力が必要で、連合自治会などで検討することが必要です。
- ・中学生前くらいまでは組織化ができますが、中学生になると子供会を抜けるので把握が難しくなります。

### 障害者支援

- ・障害の方に対するバリアがあるのではないのでしょうか。
- ・子どものことで出かける機会が多いといろいろな人との接点も多く、生きがいになります。
- ・障害のある子と生きることで親として、人生が充実する部分もあります。

### 地域の交流

- ・ゴミ出しが顔合わせの場として一番機能しています。高齢者や障害者に対する援助が必要です。
- ・パトロールも学校、民生委員、自治会がやり、横の連絡がありません。全体をまとめる機能が必要です。また、地域のつながりが育つことは災害時にも役立ちます。

### 地域活動・ボランティア活動

- ・一人でいろいろなボランティア活動をするのは大変なので、できるだけ多くの人で活動することが望ましいです。
- ・ボランティアといっただけでなく、きめ細かくテーマに沿った限定的なボランティアを掘り起こすことが必要です。
- ・各団体・組織がスムーズに役割分担できるような統括と交流を持つ必要があります。

### サービスの充実

- ・サービスは、それぞれの人にあったサービスの充実に考えてほしい。
- ・介護支援活動を地域で支えるには、時間と相当数の人手が必要です。



### 3 地区で考えた地区の取組み

